

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨地実習前総合実習 (Objective Structured Clinical Examination)		
ナンバリングコード	S40341	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 総合レベル / 臨床検査学
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 臨床検査学コース 選択: 診療放射線学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S010151	クラス名	-
担当教員名	政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幹樹		
履修上の注意、 履修条件	受講前後に実習内容についての予習・復習を必ず行うこと。 遅刻や私語など、実習の妨げとなる行為をした学生には退室を命じるとともに、その日の出席を無効とする場合があります		
教科書	臨床検査技師臨地実習ハンドブック 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-22699-5		
参考文献及び指定図書			
関連科目	臨床検査学演習、臨床検査学実習全般(血液検査学実習、病理組織細胞検査学実習、一般検査学演習、寄生虫検査学実習、生体分析検査化学実習、免疫検査学実習、遺伝子・染色体検査学実		

○基本情報		
授業の目的	1.血液検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 2.病理組織細胞診検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 3.一般検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 4.生体分析化学検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 5.免疫検査の基本的な知識を理解し、検査技術を理解し修得する。 6.遺伝子検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 7.輸血検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 8.微生物検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。 9.生理学的検査の基本的な知識を理解し、検査技術を修得する。	
授業の概要	臨床検査技師を志す者(実習生)として、一定の資質を備えた上で臨地実習に臨むことができるよう専門部門別に患者接遇に必要な総合的知識及び基本的技能・態度を確認する。また、臨地実習に臨むにふさわしい知識・技能・態度を備えているかを確認するために、技能修得到達度評価を行う。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目	臨床検査の実務経験をもとに臨床検査コース全教職員で講義・実技訓練・実技試験を展開する	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	10点		
【ディプロマ・ポリシー2】	臨床検査で行われている手技や原理を理解、説明でき、正確に実施できる。	70点		
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。	10点		
【ディプロマ・ポリシー4】	日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
実習への取り組み方、実技試験、確認試験の結果内容で評価します。	
臨床検査技師養成所指定規則の臨地実習において学生に「必ず実施させる行為及び必ず見学させる行為」に基づいた評価表を作成し実施します。試験の結果に対するフィードバックは実技試験に合格するまで訓練を繰り返し行うこととなります。 到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を十分に満たしている。(成績評価の合計が90点以上) [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(成績評価の合計が80点～89点) [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(成績評価の合計が70点～79点)	

○その他	
臨床検査学コースの学生は必ず履修すること。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、実習の進捗状況や医療状況を考慮しながら、再調整することがあります。 開始時期、日程に関してはクラスルームにて別途お知らせいたします。	
集中講義: 2025/9/17～9/19、実技訓練: 2025/9/24～26、試験日・再試験日: 2025/09/29～10/3	
【認定証】 合格者には認定証を授与します。	
【予定日】	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	臨地実習前総合実習 (Objective Structured Clinical Examination) 授業コード 政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幸	S010151
学修内容			
1. オリエンテーション・臨地実習前総合実習の概要説明、血液検査実習について オリエンテーション			
血液検査の基本的な知識・技			
予習	シラバスを読み学修の過程を把握する。血液検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	シラバスを読み学修の全体像を把握する。血液検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
2. 血液実習について 血液検査の基本的な知識・技術を修得する(白血球分類・同定について)。			
予習	血液検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
3. 病理組織細胞検査について 病理組織細胞検査の基本的な知識・技術を修得する(標本作製、HE染色・Pap.染色法など)。			
予習	病理組織細胞検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
4. 病理組織細胞検査について 病理組織細胞検査の基本的な知識・技術を修得する(組織標本による臓器の同定、Pap標本による細胞判定など)。			
予習	病理組織細胞検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
5. 一般検査について 一般検査の基本的な知識・技術を修得する(尿定性試験の判定など)。			
予習	一般検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
6. 一般検査について 一般検査の基本的な知識・技術を修得する(尿沈渣標本作製、尿沈渣の同定など)。			
予習	一般検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
7. 生体化学分析検査について 生体分析化学検査の基本的な知識・技術を修得する(秤量装置・pHメータ・濃度測定・酵素活性測定などの医療器機の操作、単位・計算、分析方法・機器・測定条件など)。			
予習	生体分析化学検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
8. 生体化学分析検査について 生体分析化学検査の基本的な知識・技術を修得する(単位・計算、生理的・個体的変動・測定技術変動、精度保証・精度管理、種々の疾患の臨床データの理解など)。			
予習	生体分析化学検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	臨地実習前総合実習 (Objective Structured Clinical Examination) 授業コード 政元 いずみ、日下 雅友、松井 智浩、長濱 純二、佐野 成雄、山岡 源治、菅崎 幸	S010151
学修内容			
9. 免疫検査について 免疫検査の基本的な知識・技術を修得する(血清試料の取扱い、間接凝集反応の判定など)。			
予習	免疫検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
10. 遺伝子検査について 遺伝子検査の基本的な知識・技術を修得する(核酸抽出法、PCR法など)。			
予習	遺伝子検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
11. 輸血検査について 輸血検査の基本的な知識・技術を修得する(ABO、Rh血液型検査法、不規則抗体スクリーニング検査など)。			
予習	輸血検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
12. 微生物検査について 微生物検査の基本的な知識・技術を修得する(標準予防策、無菌操作、Gram染色、分離培養など)。			
予習	微生物検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
13. 微生物検査について 微生物検査の基本的な知識・技術を修得する(同定検査、薬剤感受性検査など)。			
予習	微生物検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
14. 生理学的検査について 生理学的検査の基本的な知識・技術を修得する(心電図検査、肺機能検査など)。			
予習	生理学的検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
15. 生理学的検査について 生理学的検査の基本的な知識・技術を修得する(超音波検査の基本走査と描出の仕方など)。			
予習	生理学的検査の基本的な知識・技術について予習する。		約2時間
復習	実習内容をノートにまとめ復習する。		約2時間
16.			
予習			
復習			